

コスタリカ内政・外交定期報告(2024年10月)

【ポイント】

内政

- 憲法法廷による第二弾「ジャガー法」の違憲判決

外交

- 中東情勢に対する当国外務省の懸念表明
- チャベス大統領の訪米

【本文】

内政

- 憲法法廷による第二弾「ジャガー法」の違憲判決

最高裁第四法廷(憲法法廷)は、チャベス政権が国民投票に付すことを提案した第二弾「ジャガー法」(Ley Jaguar 2.0)について、諮問を受けた3条項のうち2条項に違憲判決を下した。これら2条項は、政府都市(Ciudad Gobierno)建設計画、リモン県クルーズ船ターミナル建設計画において、会計検査院の権限を制限し、入札プロセスを簡素化する狙いがあった。

外交

- 中東情勢に対する当国外務省の懸念表明

(1) 10月2日、当国外務省は、「コスタリカ政府は、国際社会と共に、イランの対イスラエル・ミサイル攻撃や、イスラエルのレバノン侵攻により悪化の一途を辿る中東情勢について懸念を表明する」旨、プレスリリースを公表した。

(2) 10月8日、当国外務省は、イスラム組織ハマスによるイスラエルへのテロ攻撃を非難する連帯声明を発出した。

- チャベス大統領の訪米

10月15日～17日、チャベス大統領は、米国カリフォルニア及びシアトルを訪問し、企業7社(Starbucks, Amazon, Applied Materials (AMAT), Advanced Micro Devices (AMD), NVDIA, Meta, OpenAI)と会談を実施した。同訪米には、トバール貿易大臣、ボガンテス科学技術通信大臣、サモラ報道大臣、ロペス貿易振興機構(PROCOMER)ジェネラルマネージャーが同行した。